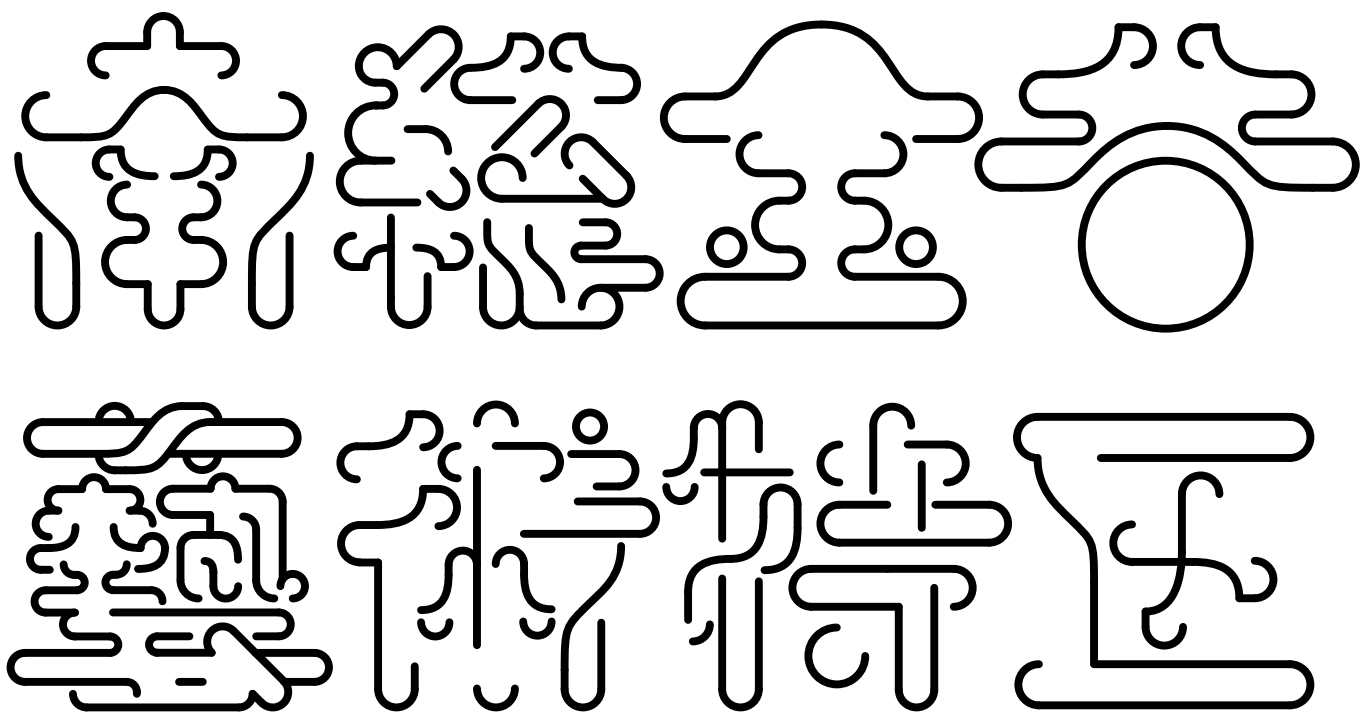


KANAYA ARTIST IN RESIDENCE PROGRAM



ART EXHIBITION

2017 3.10 FRI - - > 20 MON

月火木金 | 14:00 開始ツアーのみ(金谷美術館集合)、土日祝 | 10:00-16:30 | 3/15(水)休

「金谷」は東京湾に面した千葉県富津市南端に位置する集落です。

南には房州石が採掘された《鋸山》の偉容が聳え、港には東京湾の向こう側、久里浜からのフェリーが着きます。

山海の景観に恵まれたこの土地、いにしえから現代まで、小林一茶、夏目漱石、東山魁夷、工藤哲巳など多くの文人墨客が訪れてはインスピレーションを得たものですが、町は今ではやはり人口減少、過疎の例を免れていません。

この度、この地に文化を復活する「芸術特区」を勝手に制定しようとする取り組みがはじまりました。

言い出したのは、中央の美術関係者でも、行政関係者でもなく、かつて石切で栄えた村人の末裔たちです。

南総の風光に囲まれたこの金谷の地に、数名ずつの若いアーティストをもてなしてゆこうというわけです。

それは経済波及効果を狙って目下の日本を席卷している地域イベントではありません。

ゆくゆくは、芸術家と、芸術に親しむ人が、徐々に根付いてくれることを目指す、地元民の願いです。

菜の花の季節、自然に恵まれた金谷の地の、旧市街の家屋や波打ち際を舞台とする、アートイベントの始まりです。

アーティスト | 荒木美由 笠原光咲子 小林雅子 齋藤英理 佐々木たくめい 野呂あかね 半澤友美 星田大輔 矢部裕輔 渡邊万莉菜 (NARAMIX)



主催 | ネイチャーミュージアム金谷実行委員会

協力 | 公益財団法人金谷美術館、富津観光開発株式会社、株式会社丘の鐘撞社、NPO 法人オール富津情報交流センター、富津観光協会天羽支部、カフェエどもんず 後援 | 富津市教育委員会

助成 | 文化庁 平成 28 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

# KANAYA ARTIST IN RESIDENCE PROGRAM ART EXHIBITION

## 「南総金谷藝術特区」開催にあたり

房州三名山、鋸山とふもとの町金谷は古来より多くの文人墨客に愛され歌川広重、小林一茶、川瀬巴水、東山魁夷などここを訪れた彼らは、創作意欲を掻き立てられる豊かな環境の中でインスピレーションを得、作品に残っていました。

またこの地では鋸山から切り出される房州石の産地として栄えた歴史があります。2016年千葉県石にも認定された房州石は江戸時代より竈の材料などとして人々の生活を支え、また明治・大正・昭和と時代が大きく変わる中、港や台場の築造、東京湾岸の整備にと膨大な量が使用され、日本の近代化を土台から支えて来ました。房州石が切り出された鋸山の岩肌に残る独特の景観は巨大な彫刻作品・ネイチャーミュージアムとも言え、見る者を圧倒します。このような背景から金谷では数年前より「石と芸術のまち金谷」を合言葉に町おこしを進めて参りました。

今回開催する「南総金谷藝術特区」はアーティストが金谷の町に滞在し、作品を制作・展示するという取り組みです。

古より芸術家に愛されたこの地が、今一度創作意欲ある芸術家の活躍の場として再興する事を願って本事業を開催致します。

平成29年1月吉日

ネイチャーミュージアム金谷実行委員会会長 鈴木裕士

# 2017 3.10 FR - - > 20 MON

月 火 木 金 14:00 開始ツアーのみ(金谷美術館集合) 3/15(水) 休  
土 日 祝 10:00-16:30 ※会期中、時間外や団体でのお越しをご希望の際は、お問い合わせください。

「南総金谷藝術特区」は、過疎化、人材不足の問題を抱える「金谷」が、創造力の豊かな次世代を育むべく、「考える人のまち」を目指すものです。そこで、日頃より作品を通し社会に「問いかけ」をしているアーティストを金谷に招き、滞在型作品制作プログラムと、その成果発表会を、平戸貢児(女子美術大学教授)総合ディレクションにより企画する運びとなりました。金谷に住む人々や、訪れる人々が、芸術を通して自分の過去、現在、そして未来を「考える」特別な機会になることを願っています。

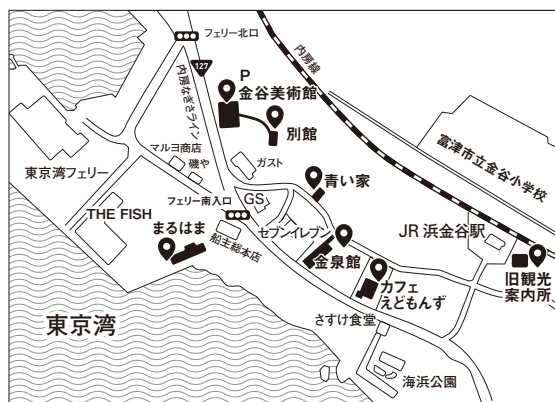
アーティストは2016年11月に、現地の見学会とプログラムのオリエンテーションに参加。2017年2月より、金谷の民家や展示場にもなる温泉宿「金泉館(きんせんかん)」に宿泊し、滞在を開始します。地域の人々との交流を通し、金谷の文化、歴史、風土を研究し作品を制作、そして3月に各々の「問いかけ」を発表します。

### ARTISTS

### PLACES

荒木美由	--> まるはま
笠原光咲子	--> 金泉館
小林雅子	--> カフェえどもんず・金泉館
斎藤英理	--> 金谷美術館別館(石蔵)
佐々木たくめい	--> 金谷美術館敷地
野呂あかね	--> 金泉館
半澤友美	--> 金泉館
星田大輔	--> 金谷美術館敷地・金泉館
矢部裕輔	--> 青い家(旧民家)
渡邊万莉菜 (NARAMIX)	--> 旧観光案内所

### MAP



### 【南総金谷藝術特区実行委員会】

委員会会長 | 鈴木裕士  
実行委員 | 山崎曜  
実行委員 | 高橋綾子

金谷美術館館長  
金谷美術館学芸員  
金谷美術館広報員

総合ディレクター | 平戸貢児  
キュレーター | 半田滋男  
クリエイティブディレクター | 笠井慎吾  
ゼネラルマネージャー | 風戸重利(統括)

女子美術大学教授  
和光大学教授  
スリーシーファミリア株式会社  
スリーシーファミリア株式会社

お問い合わせ | 公益財団法人金谷美術館 〒299-1861 千葉県富津市金谷2146-1 tel.: 0439-69-8111 fax: 0439-69-8444 e-mail: voice@kanayaart.com  
金谷美術館アクセス | 電車: JR 浜金谷駅より徒歩5分、東京湾フェリー: 金谷港より徒歩1分、自動車: 館山自動車道 金谷ICから3分、銀座からアクアライン経由で約50分

www.kanayagt.com www.facebook.com/kanayagt

